

特別講演 1

「糖尿治療を再考する」

東海大学医学部 腎内分泌代謝内科 准教授

鈴木 大輔 先生

糖尿病患者が増加の一途を辿る本邦の現状を考えると、糖尿病治療は糖尿病専門医だけではなく、実地医家の先生方も一丸となることが必要であり、質の高い医療を提供できる体制作りが急務となっている。まず認識すべきことは、糖尿病治療の目的が合併症の発症・進展を予防することのみならず、健康な人と変わらない日常生活の質（QOL）を維持しつつ健康な人と変わらない寿命を確保するということである。そのためには躊躇することなく厳格な血糖コントロール管理を行わなければならない。

本講演では、従来から使用されているSU薬、ビッグアナイド薬、 α グルコシダーゼ阻害薬、インスリン抵抗性改善薬、速効型インスリン分泌促進の最新的话题を総括するとともに、最近発売されたDPP-4阻害薬の特性や持効型インスリンの使用方法などについても、自験例を中心に解説する。